

恵庭市中小企業振興審議会(令和6年度第1回)

令和6年11月14日(木) 13時30分～
恵庭市役所3階 第2・第3委員会室

次 第

1. 開 会

2. 議 案

(1) 基本計画推進管理専門部会での意見・提案について

3. 閉 会

恵庭市中小企業振興基本条例「キャッチフレーズ」

「ゆたかさを描く恵庭のまちづくり」(一般公募優秀作品)

(八京義一さん/島松本町在住)

審議会委員

所属	役職	氏名
北海道中小企業家同友会 札幌支部 千歳・恵庭・北広島・長沼地区会	幹事	みやざき こうじ 宮崎 好司
恵庭商工会議所	副会頭	くろだ まさし 黒田 雅史
恵庭市商店会連合会	監事	たけうち きよし 竹内 清
一般社団法人 恵庭青年会議所	専務理事	たけい かずま 武井 和磨
恵庭市金融協会	会長	あんどう たかよし 安藤 隆善
恵庭工業クラブ	副代表幹事	いとう よしゆき 伊藤 良幸
公益財団法人 北海道中小企業 総合支援センター	経営支援部長 地域支援室長	かく みつてる 加来 光輝
道央農業協同組合	理事 (恵庭・北広島ブロック)	かとう つよし 加藤 強
北海道経済産業局	産業部 中小企業課長	なりた あきひろ 成田 明弘
北海道石狩振興局	産業振興部 商工労働観光課長	たなか ひさし 田中 尚
北海道文教大学	健康栄養学科 准教授	こづか みゆき 小塚 美由記
恵庭消費者協会	事務局長	すどう すずむ 須藤 進

令和6年度 専門部会 意見集約表

	No.	事業名	専門部会委員からの当日意見
恵庭の 魅力向上の 取組 基本戦略2	1	企業立地促進補助金	・工業団地は地域同士での競争が多くなってきているので、土地を用意して終わりではなく、恵庭の強みや魅力をセットで売り出す方法を考えておくべきではないか。
	8	観光関係事業	・えにわ湖周辺など、シャトルバスの実施も予定しているようだが、それでも2次交通は不足することが想定されるためライドシェア制度の導入を検討するのも1つの手段であると思われる。海外では、目的地を指定してUberを呼べば言語が通じなくても移送してくれ、クレジット支払いのため最後は降車すれば良いだけと、とても便利なサービスがある。恵庭市内の美味しいお店は比較的離れているところにあるので、これからインバウンドをうまく呼び込もうと思うのであればそういう制度を使えればと思う。 ・夜間に「道の駅～各駅～飲食店街」だけを連絡するコミュニティバスのようなものがあるだけでも移動手段不足の課題を解消する手段としては有用と考える。道の駅の宿泊客や市外からの来訪者も利用ができることから、恵庭市内の観光地や飲食店の盛り上がりにも寄与するのではないか。
	12	花の拠点整備(運営)事業	・タクシーチケットについて、マリオットホテルの宿泊プランの中に組み込むのも効果があるのではないか。また、飲食店を周遊するチケットを商工会議所との連携で発行するなど、タクシーチケットと一緒にやるのも面白いと思う。恵庭市は魅力的な飲食店があり、観光客の方も色々な楽しみができて良いと思う。 ・レンタカー代金の支援があっても良いと思う。茨城空港でも同様の支援制度を実施しており、茨城で宿泊したらレンタカー代を3000円～4000円補助されるため、1日1,000円程度で利用できる。同様に、運転代行も支援の対象となると幅は広がると思う。
雇用の 確保と 人材 育成の 支援 基本戦略3	1	就職促進事業	・合同企業説明会が就職に結びつかなかった理由の分析や追跡調査が必要であると思う。また、今後も短期的なイベントとして開催をするべきだと思うし、少しでも多い来場者があるように努めて欲しい。 ・職場を選択する上で最終的な決め手になっている要因を分析することで、恵庭の雇用を増やす方法を考えられると思いますし、採用を行っている企業にも情報の開示を行っていただきたい。 ・恵庭の企業探検隊のような地味な取り組みでも良いので、実際に現場を見るなど、職業観の醸成に繋がる事業を継続的に行うことで、恵庭で働こうとする人が増えてくると思う。企業を実際に見て、就職活動時にWebで見て、地元企業だから昔から知ってて、という背景があると、その後のミスマッチも防げるのではないか。

令和6年度 専門部会 意見集約表

	No.	事業名	専門部会委員からの当日意見
確立地域基本戦略4 強化と産業循環型経済の 強連携の	2	市内企業ビジネス マッチング事業	・市内企業のマッチングや企業者同士のネットワークの底上げを図るために、金融機関等を介しながら、お互いの利害調整のすり合わせができるような場を設けてはどうか。
	1	起業家支援事業	・インキュベーション施設である恵庭RBPで実施しているシェアオフィスについて、利用の付加価値(起業に関する政策補助を受けやすくなる、利用者は商工会議所の伴走支援を受けられるなど)を創設し活用を広げていく取組をしてはどうか。
起業・第一創業・基本戦略5 よる地域経済の活性化 円滑な事業承継等に	2	起業支援事業補助 金	・起業時に50万円の補助を受けられるメリットは大きく非常に有用な制度である。 ・補助対象経費にパソコンを追加することについて、パソコンに限らず汎用性が高い物品は、その事業に本当に必要であることを説明・証明させる仕組み(商工会議所における推薦などのお墨付きをもらうなど)が必要である。今時、起業にパソコンが必須ではない時代の中で、単に一般的な使用用途としてパソコンを購入したいから認めるということにはならない。
		企業立地関連	・ラピダス進出による経済波及効果には不透明な部分も多いので、ラピダスの関連企業以外にも焦点を当てて、どのような企業を誘致し、恵庭に何を残していくのかについて明確にしておくべきではないか。 ・北海道に進出を考えている企業が増えている感覚はあるが、工業団地の造成までに時間がかかってしまうと、立地企業とのタイムラグが生じてしまうので、できるだけ早期の完成を目指すべき。
その他		恵庭版小規模事業者 持続化補助金	・経済の活性化には起業後の継続性、発展性が大切であるとともに、個人で完結するような事業ではなく雇用を創出するような事業に成長することが必要。 ・起業時の補助金については起業支援補助金があるが、市内事業者の発展に対して支援することで雇用創出効果に繋げるためにも成長段階の企業を支援する補助金を創設してはどうか。